議案第2号関係

秋田都市計画高度利用地区の変更(秋田市決定)

都市計画高度利用地区を次のように変更する。

種	類	面積	建築物の容 積率の最高 限度 (注2)	建築物の容 積率の最低 限度		建築物の建 築面積の最 低限度	備 考 (注3)
高度利力		約3.3ha	60/10以下	20/10以上	8/10以下	500㎡以上	
高度利力		約2.9ha	60/10以下	20/10以上	8/10以下	500㎡以上	壁面の位置 の制限4.0m
合	計	約6.2ha					

- (注1) 建築基準法第53条第3項第1号または第2号のいずれかに該当する建築物に あっては1/10、同項第1号および第2号に該当する建築物にあっては2/10を 加えた数値とする。また、同条第5項第1号に該当する建築物にあっては、同 条第1項の規定を適用しない。
- (注2) 建築基準法第59条の2第1項の規定による許可、または同法第68条の3第1項に規定する認定を受けた建築物においてはこれを超えることができる。
- (注3) 庇等は壁面の位置の制限から除く。

「位置、区域および壁面の位置の制限は計画図表示のとおり」

変更理由

都市的な土地利用を進め、また、近年の経済状況にあった高度利用を導くため、施設建築物の容積率の最低限度を変更するものである。

変更理由

中通一丁目地区は、秋田市の中心部として土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図る地区として、平成12年に高度利用地区および第一種市街地再開発事業が同時に都市計画決定されている。

こうした中、近年の社会経済状況等の変化により、地方都市中心部における大規模建築物の需要は 縮小傾向にあるため、本地区における高度利用地区制限を見直す必要が生じたところである。

以上により、最低容積率を本地区の実状に見合った内容に変更し、より多様な施設の建設を可能と するよう、案のとおり変更するものである。

秋田都市計画高度利用地区の変更新旧対照表

(変更前)

種	類	面積		建築物の容 積率の最低 限度		建築物の建 築面積の最 低限度	備 考
高度利用地区 (駅前)		約3.3ha	60/10以下	20/10以上	8/10以下	500㎡以上	
高度利用地区 (中通一丁目)		約2.9ha	60/10以下	30/10以上	8/10以下	500㎡以上	壁面の位置 の制限1.5m
合	計	約6.2ha					

- (注1) 建築基準法第53条第3項第1号または第2号のいずれかに該当する建築物に あっては1/10、同項第1号および第2号に該当する建築物にあっては2/10を 加えた数値とする。また、同条第5項第1号に該当する建築物にあっては、同 条第1項の規定を適用しない。
- (注2) 建築基準法第59条の2第1項の規定による許可、または同法第68条の3第1項に規定する認定を受けた建築物においてはこれを超えることができる。

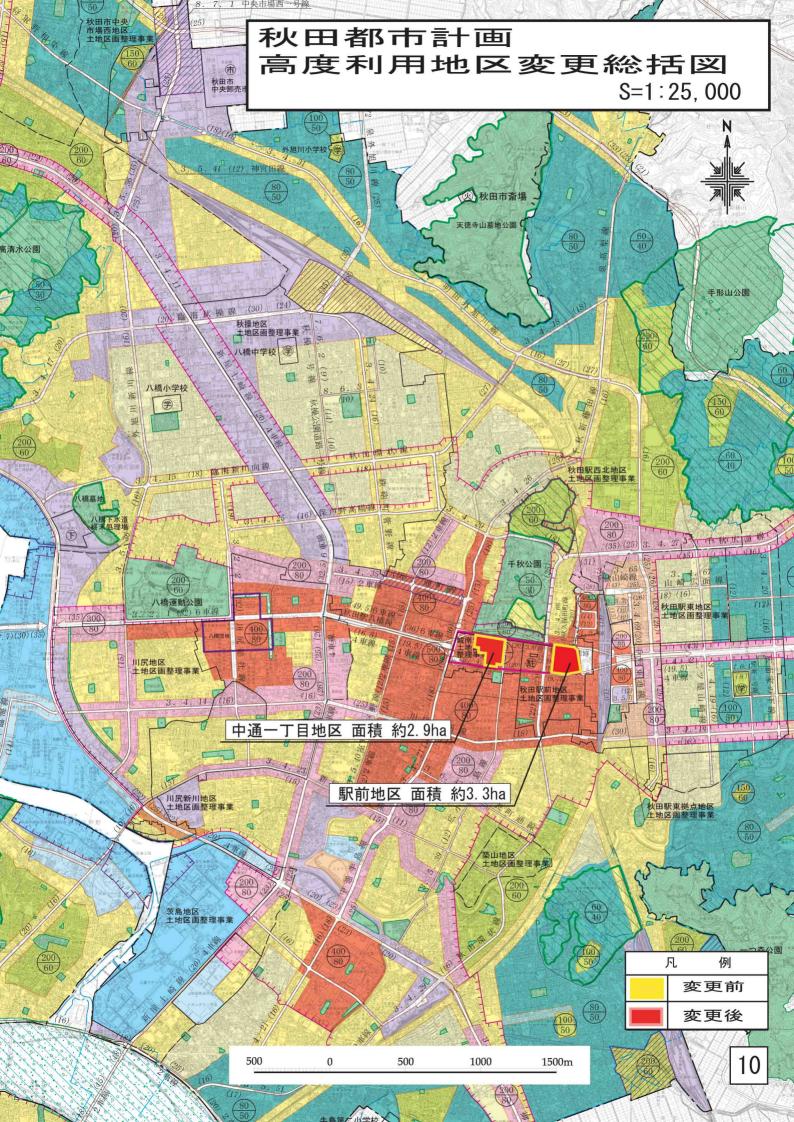
「位置、区域および壁面の位置の制限は計画図表示のとおり」

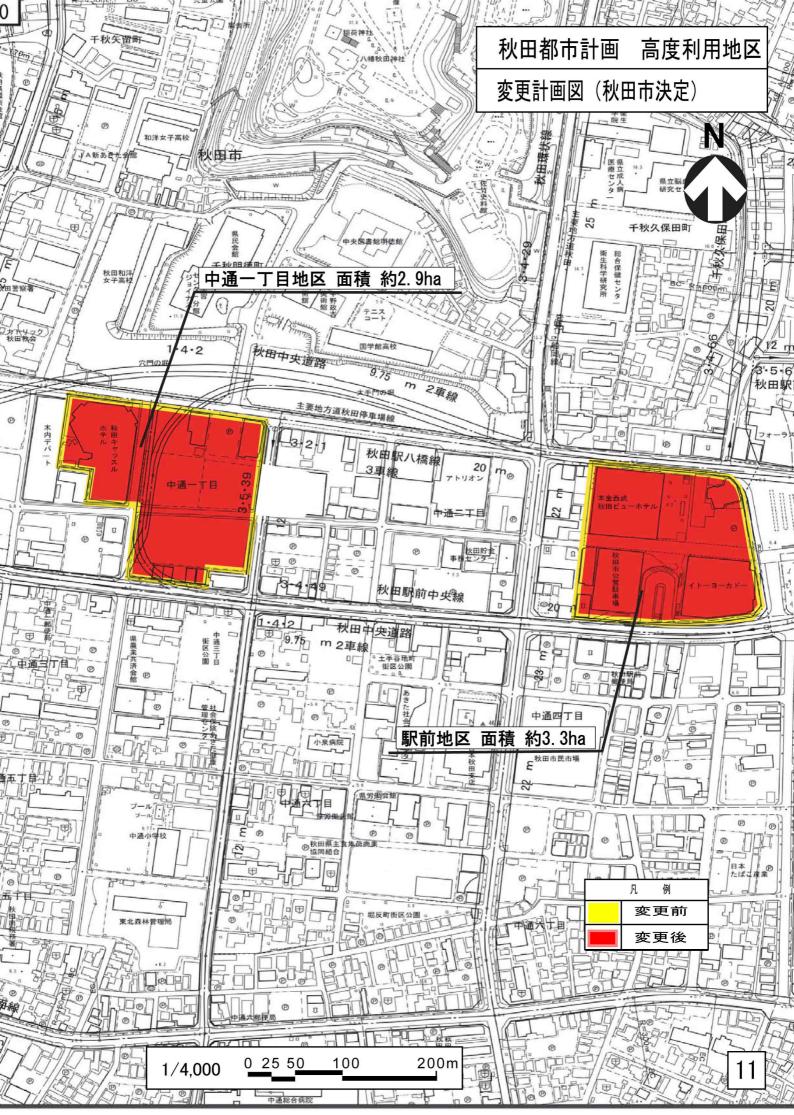
(変更後)

種	類	面積			建築物の建 ペい率の最 高限度 (注1)		備 考 (注3)
高度利		約3.3ha	60/10以下	20/10以上	8/10以下	500㎡以上	
高度利力		約2.9ha	60/10以下	20/10以上	8/10以下	500㎡以上	壁面の位置 の制限4.0m
合	計	約6.2ha					

- (注1) 建築基準法第53条第3項第1号または第2号のいずれかに該当する建築物に あっては1/10、同項第1号および第2号に該当する建築物にあっては2/10を 加えた数値とする。また、同条第5項第1号に該当する建築物にあっては、同 条第1項の規定を適用しない。
- (注2) 建築基準法第59条の2第1項の規定による許可、または同法第68条の3第1項に規定する認定を受けた建築物においてはこれを超えることができる。
- (注3) 庇等は壁面の位置の制限から除く。

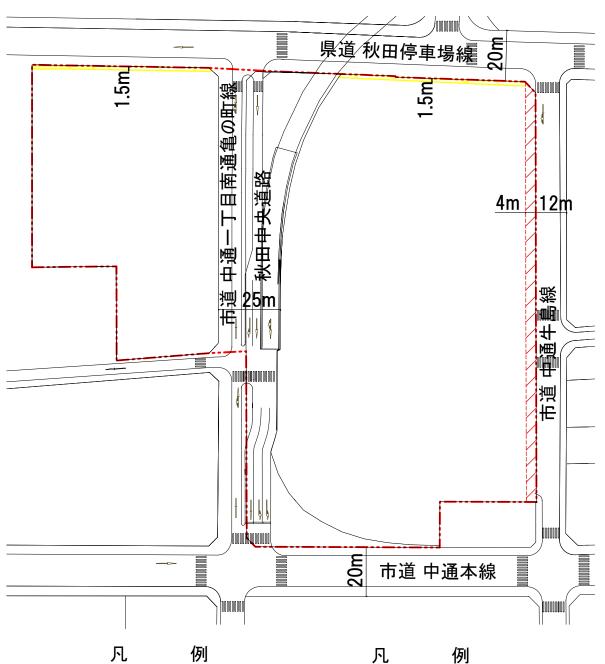
「位置、区域および壁面の位置の制限は計画図表示のとおり」





秋田都市計画高度利用地区変更計画図 中通一丁目地区(壁面の位置の制限)





地区名	中通一丁目地区
容積の最高限度	60/10以下
容積の最低限度	20/10以上
建ぺい率の最高限度	8/10以下
建築面積の最低限度	500㎡以上
壁面の位置の制限	4m
区域面積	2. 9ha

凡 例

壁面の位置の制限(変更前)

壁面の位置の制限(変更後)

・・・・ 施行区域